

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551) 6215~9
ロシア東欧経済研究所 [購読料・送料共前納 1ヶ月-1,500円 1ヶ年-18,000円]

平成8年2月25日

No. 1015

1995年のロシア経済 — 明と暗が交錯する新局面を迎えて —

はじめに

ロシア統計国家委員会が発表した1995年ロシアの経済実績によれば、GDP、工業生産は実質でそれぞれ前年比4%減、3%減、インフレ率は月平均7%にとどまり、1992年以來の経済の崩落傾向にもようやく歯止めがかかってきたように見える。ロシア統計のデータ補足率の低さ、統計には現れないロシア社会の深部で生じている動きを考慮すれば、ロシア経済の現状はもっと良好であると見ることも可能であろう。

だが、昨年末のロシア下院選の結果に示された多くのロシア国民の現政権に対する不信の態度は、経済改革の恩恵が必ずしも国民全体にまで及んでいないことを物語るものである。また後で述べるように、ロシア経済の現状の評価については政権指導部内でも意見が一致していない。

本号では、明暗入り交じったロシア経済の現状について、1995年経済実績を踏まえ、検討してみる。

(ロシア東欧経済研究所 調査役 音羽周)

シリーズ ロシア大統領選を追う..... p.10